令和2年度　八幡西中学校研究構想図

学校の教育目標

健康で心の豊かな生徒

進んで学ぶ生徒　　思いやりのある生徒　　たくましい生徒

本校における学習課題

・落ち着いて授業に参加しているが，基礎的な知識，技能の習得が不十分な生徒がいる。また能力の高い生徒も，進んで伸びようとする気持ちが弱い傾向にある。
・学習した内容が不確かな実感にとどまっている生徒が多いため，学びの実感をより確かなものにする必要がある。
・理解している仲間に教えてもらうことを前提にしている姿があり，主体的に学びに向かう姿勢に弱さがある。

目指す生徒の姿

・様々な角度から事象の本質をみつめ，主体的に粘り強く学習に向かう生徒。
・学びの実感をもち，次の授業への意欲を高める生徒。
・仲間と共に自分の考えを表現し合う中で，互いに学びを深め，個の力を確実につけることのできる生徒。

研究の流れ

昨年度まで，本校では地域で生きる表現力を「自己表現力」として３か年の研究を進めてきた。成果として生徒の表現力が地域の場で発揮される姿も多く見られ，一人一人の表現力の向上がみられた。課題として挙がったのは，個に焦点を当てた時に，単位時間での学びの実感を明確にもてていないことから，主体的な学びの姿勢に差が生まれることであった。

研究主題

主体的に学びに向かう生徒の育成

～学びの実感がもてる授業を通して～

研究仮説

単位時間で何を学ぶかを明らかにした単元指導計画とともに，単元を越えた学びの系統性を明らかにした指導計画を作成し，単位時間の中で一人一人が確かな学びの実感が得られる学習過程を繰り返すことで，主体的に学びに向かおうとする生徒の育成をすることができる。

研究内容

1　**単元指導計画の工夫**

①　単位時間の学びを明確にした単元指導計画の作成
②　学びの系統図の作成

2　**単位時間の学習過程の工夫**

①　学ぶ必然性を生み出す課題化
②　生徒の主体性を生み出す学習活動
③　個の考えを広げ・深める手立て
④　学びが実感できる評価